

## 宗谷ほうき

音沙汰無いよ  
うでいて、やは  
り水面下で動い  
ていた。そんな  
印象を受けた  
のが宗谷管内の  
次期道議選挙。

▼統一地方選挙は明年4月。5か月後に迫って来ており、知事選は自民、民主の両党が早くも水面下の攻防。現職の高橋はるみ知事の再出馬は動かないだろう。対する民主党は候補者擁立を模索している。これも時間が迫れば、煮詰って来る。他

党がどう絡んでゆくか。道民の耳目が集中するところ。▼「音無し」と思

っていた管内の道議選。

現職の湯佐利夫道議は既に「続投」を表明している。これに対して民主党は、ここに来て田島央一氏の擁立を発表。俄かに選挙戦が盛り上がりそうなき配。双方がどんな展開

を見せるか。▼昨今の国政、道政選挙は「読みにくい」というのが、選挙

通といわれる人たちの共通した言葉。単に保守とか革新という色分けだけで選ぶとは限らない。そ

れだけ、有権者の選挙基準が高くなっているのだらう。その反面、無関心層といわれる人たちが増

加。▼これらを含め浮動票層が、そのときの気分でどう転ぶか不明。しま

いには選択放棄？も少ない。こうした複雑さが、選挙通と云われる人

たちの「読み」を難しくしているのかも。この民主党の候補擁立で、選挙

戦も火が付き始めたと云ってもよい。▼道議選で云えば稚内市選挙区もどう展開するか。そのあとには首長・市議選がもの。一説には水面下で動きが始っているといわれるが、